

**2014年3月期 第1四半期 決算発表後 IR 活動での Q&A**

- Q. 上期業績予想について、5月予想と比べて、売上を70億円増額修正したが、営業利益が増加しない理由は？**
- A. 変動費率が、前年同期に比べて改善する見込みではありますが、プロダクトミックスの影響やコストダウン効果の損益への反映時期の遅れにより、5月予想に比べ改善幅が縮小する見通しとなったことによります。
- Q. 半導体機器事業の売上予想について、上期予想（750億円）に比べ、下期予想（650億円）が減少する背景は？**
- A. 上期は、足元の受注状況から売上予想を70億円増額修正いたしました。下期は、まだ見えていない商談もあることから5月予想を据え置きました。さらに、収益認識基準の変更から売上計上時期を保守的に見ている部分があります。
- Q. 貸借対照表において、現金及び預金が2013年3月末に比べ153億円増加し557億円となっているが、その理由は？**
- A. フリーキャッシュ・フローがプラスであることに加え、社債発行による資金調達を行ったことによります。世界の経済環境の先行きが不透明な状況が続いていることから、手元資金を厚めに確保していますが、先の見通しがついてくれば、短期借入金の返済に充当していきます。
- Q. 2014年3月期予想における為替変動による損益への感応度は？**
- A. 年間での感応度は、US\$は1円に対して、営業利益1.0億円程度、EURは1円に対して、営業利益0.4億円程度の影響です。  
(2014年3月期2Q以降の業績予想の想定レートは、1US\$=95円、1€=125円)
- Q. コーターデベロッパー事業の状況は？**
- A. 相対的に市場シェアが高いメモリーにおいて投資が増加していることや、先端分野における売上の増加が予想されることから、2014年3月期は収益改善を見込んでいます。
- Q. メモリーの3D NAND化による洗浄装置への影響は？**
- A. 工程数の増加や技術水準の高度化により、洗浄装置もポジティブな影響が想定されます。
- Q. FPD製造装置の設備投資状況は？**
- A. 現在、中国のTV向け大型投資案件やその他の地域でも携帯端末向け中小型投資案件が進行中。2015年3月期の設備投資は2014年3月期と同程度を見込んでいます。

以上